

**公立はこだて未来大学と福島吉岡漁業協同組合および福島町の三者が
水産業の振興および相互発展に関する協定を締結**



写真左から：村田駿・福島町長，中島秀之・本学理事長兼学長，阿部国雄・福島吉岡漁業協同組合代表理事組合長

公立大学法人公立はこだて未来大学と福島吉岡漁業協同組合および福島町は、学術、教育および地域の振興発展に関する各分野において連携・協力し、持続可能な水産業の振興および三者の発展を図ることを目的として、平成23(2011)年10月20日、包括連携協定を締結いたしました。

当日は、本学より中島秀之理事長・学長、高橋修共同研究センター長のほか連携に関連する教職員が福島町を訪れ、福島吉岡漁業協同組合の阿部国雄代表理事組合長、福島町の村田駿町長、本学中島理事長・学長により調印式を行いました。

調印式のあと、連携協定を記念して、以下のような記念講演会を開催しました。

◇記念講演会

- ・基調講演 「地域・社会のイノベーション・デザインの実現」
本学・共同研究センター長 高橋 修 氏
- ・調査報告 ①「情報技術を活用した水産業支援の現状と将来」
本学・複雑系知能学科 教授 三上 貞芳 氏
- ②「福島町藻場調査について」
本学・名誉教授 長野 章 氏
- ・総合討論 「福島町における情報技術の活用」
進行 本学・名誉教授 長野 章 氏

提言者 福島吉岡漁業協同組合 代表理事組合長 阿部 国雄 氏
福島町長 村田 駿 氏
本学理事長・学長 中島 秀之 氏

【背景と目的】

本学と福島町は、当時本学教授であった長野教授(現本学名誉教授)を中心に、平成15年度から魚のトレーサビリティなどを活用した漁業振興に関する連携事業に取り組み、平成18年度からは「福島地域マリンビジョン事業」の一環として、毎年、北海道大学水産学部との共同で、本学の学生が福島町を研究活動の一環として訪れ、漁業者などとの交流を深めてきています。

こうした取り組みを背景に、今後においても福島地域との水産業の継続的な発展を支援することを主な目的として、本学と福島町および、これまでも連携事業において協力関係にある福島吉岡漁業協同組合の三者による水産分野における包括連携協定を締結するものです。

◇本協定による主な連携・協力事項

- ・持続可能な水産業を振興するための情報技術の活用に関する調査研究の実施
- ・地域の水産業の将来を担う人材の育成
- ・福島地域マリンビジョンの推進
- ・その他三者の協議により定める事項

【今後の展開について】

今後は、この包括連携協定をベースに、トレーサビリティシステム、小型海洋観測ブイ、GIS といった情報技術の活用により、研究活動を通して水産業および地域の振興に貢献していく計画です。

本件のお問い合わせ先
公立大学法人 公立はこだて未来大学 共同研究センター
E メール: center-ml@fun.ac.jp 電話 0138-34-6571(ダイヤルイン)